

# 平成28年度 編入学・学士入学試験

## 専門科目：経済学（近代経済学系）

次の三つの問題すべてに解答しなさい。

[1] 以下の経済モデルが与えられているとする。次の各問に答えなさい。

所得均衡式： $Y = C + I + G + NX$

消費関数： $C = C_0 + c(Y - T) = 36 + 0.6(Y - T)$

投資関数： $I = d - \beta \cdot r = 72 - 4r$

貨幣需要関数： $L = 0.2Y + (425 - 5r)$

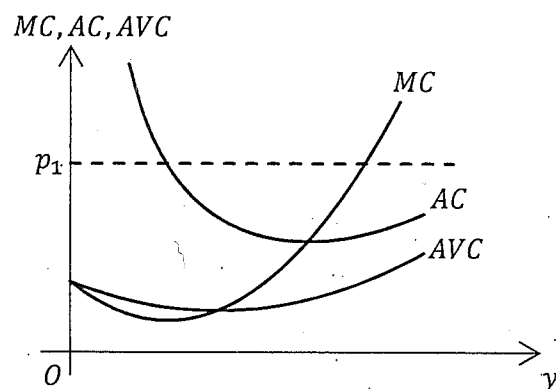
実質貨幣供給量： $M/P = 500$ 兆円

- (1) ここで、政府支出 $G$ が70兆円、貿易収支 $NX$ が20兆円、そして租税 $T$ が10兆円に固定されている場合を想定する。均衡国民所得 $Y^*$ と均衡利子率 $r^*$ を求めなさい。
- (2) 実質貨幣供給量を14兆円増加させる政策を行った場合、均衡国民所得と均衡利子率はいくらになるかを求めなさい。

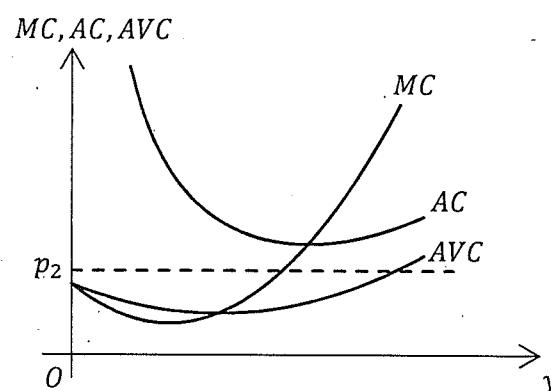
[2] 大問[1]で起こっていることをIS-LM曲線(横軸に国民所得、縦軸に金利とした図)を用いて、具体的に述べなさい。また、ある状況に直面し、投資の金利感応度 $\beta$ が大きく低下した場合に、その政策効果はどのように変化するかを、同じようにIS-LM曲線を用いて述べなさい。

[3] 完全競争市場で、ある企業が一種類の財を生産しているとする。以下の(図3-1)および(図3-2)はこの企業の短期における限界費用曲線 $MC$ 、平均費用曲線 $AC$ 、平均可変費用曲線 $AVC$ を描いたものである。 $y$ はこの財の生産量を表している。この企業の目的が利潤最大化であるとして、以下の各問に答えなさい。

(図3-1)



(図3-2)



- (1) この財の市場価格が(図3-1)に示す $p_1$ であるとき、この企業の最適生産量はどのように決められるか、説明しなさい。なお、グラフを用いて説明する場合には、改めて解答用紙にグラフを描くこと(2)以下でも同様)。
- (2) この財の市場価格が(図3-2)に示す $p_2$ であるとき、最適生産量における利潤が負になることを説明しなさい。
- (3) (2)の状況において、この企業は生産を続けるべきか。理由とともに答えなさい。
- (4) 平均可変費用曲線が $AVC = 2y^2 - 10y + 30$ と与えられ、この財の市場価格が80のときの最適生産量が5、その際の利潤が150であるとする。このとき、固定費用の値はいくつか、求めなさい。